

60周年を機に、商工業の更なる発展を誓う —群馬商工連「創立60周年記念大会」を開催—



本会は、商工会法に基づき昭和36年10月に設立され、昨年で創立60周年を迎えました。これを記念し「創立60周年記念大会」を令和3年11月18日(木)、前橋テルサにおいて開催しました。大会には、県内43商工会から正副会長・事務局長のほか、ご来賓に山本一太県知事、井田泉県議会議長、森義久全国商工会連合会長をはじめ、国・県議会議員や関係団体の皆様にご出席をいただきました。

冒頭の式辞で石川会長は「この60年は、常に順風満帆だった訳ではない。多くの困難に幾度も見舞われたが、その都度、組織を挙げて立ち向かい、難局を乗り越えてき

た。現下のコロナ禍を乗り越え、安心して事業活動を継続できるよう、これからも組織を挙げて「伴走型支援」に取り組んでいく。商工会が今日まで発展を遂げたのは、国、県、市町村の温かいご支援と、諸先輩や商工会役職員の苦労と努力の賜物。先人の功績に敬意を表し、設立時の原点に立ち返り、組織一丸となって新たな時代を切り開いてまいります」と述べました。

大会決議では「コロナ禍克服のための中小・小規模事業者支援の強化」など4項目の推進方針が満場一致で決議されました。

(関連記事4ページ)

CONTENTS

群馬県商工会連合会創立60周年記念大会を開催	…1
新年のごあいさつ	…2・3
群馬県商工会連合会創立60周年記念大会報告	…4
商工会リポート	
台湾向けオンラインツアー開催報告と経営安定セミナー	…5
のお知らせ	

注目! 持続化補助金と個別商談会参加募集のご案内	…6
商工会トピックス しぶかわ商工会とみどり市商工会	…7
広域支援センター通信	…8



新年御挨拶



群馬県商工会連合会 会長 石川 修司

明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎えるにあたり、
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の長期化により、会員企業の多くが厳しい経営状況を強いられた1年でありました。現在、ワクチン接種効果と国民の感染防止対策により、新規感染者数が減少し、明るい兆しが見え始めてはいるものの、コロナ以前の経済情勢に戻るには、まだ時間を要するものと思われます。

商工会組織では、こうした時こそ組織の真価が問われるとの認識のもと、国・県・市町村の様々な支援策を最大限に活用しコロナ禍を乗り越えていけるよう、組織を挙げて取り組んでまいりました。

こうした中、本会は昨年、創立60周年を迎えました。昨年11月に開催した創立60周年記念大会では、県内43商工会の正副会長にご出席いただき、山本知事をはじめ多くのご来賓のもと「コロナ禍克服のための中小・小規模事業者支援の強化」など4項目について決議いたしました。

60周年を契機に「会員あつての商工会」の原点に立ち返り、会員の皆様にとって一番身近で一番お役に立てる存在であり続けら

れるよう、組織一丸となって決議項目を実現すべく伴走型支援に取り組んでまいっている所存です。

さて、商工会組織が平成22年から取り組んできた「商工会改革」も今年度、第3次改革「ぐんま商工会2025」がスタートしました。持続化補助金において採択件数の3年連続の全国一や、昨年度は会員数が24年ぶりに増加に転じるなど、その成果も着実に現れてきています。しかし、改革はまだ道半ばです。コロナ禍で加速化するデジタル化やニューノーマルへの対応など、社会経済環境が目まぐるしく変化する中で、中小・小規模事業者もそれに適応しなければならず、商工会の支援や組織のあり方も変わらなければなりません。

新たな計画では、個社支援の強化やデジタル化の推進とともに、業務の効率化や人材育成の強化など組織改革にも積極的に取り組み、会員とともに成長し、地域に貢献できる商工会への変革を目指してまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

今年が皆様にとりまして良い1年になりますよう祈念して、新年のご挨拶といたします。

令和4年 元旦



群馬県知事 山本 一太

明けましておめでとうございます。

商工会の皆さまには、心新たに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、多大なご尽力をいただいている全ての皆さまに深く感謝申し上げます。

昨年は、感染症から皆さまの命と健康を守るため、保健所や医療提供体制の強化をはじめ、県営大規模ワクチン接種センターをいち早く立ち上げ、各市町村とも連携し全国トップクラスのスピードでワクチン接種を進めるなど、さまざまな対策に全力で取り組んでまいりました。

また、全国に先駆けて「ぐんまワクチン手帳」を活用した県内の旅行促進策「愛郷ぐんまプロジェクト」や飲食店等への応援のためのプレミアム食事券を販売するなど、地域経済の早期回復に向けた対策にもスピード感を持って対応してきました。

コロナ対策は長期戦となります。引き続き、感染防止と地域経済を回していくという、この2つを両立できるよう、油断することなく、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

本年は、新・総合計画ビジョンで掲げた20年後の本県が目指す姿「すべての県民が、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会」を実現するための取り組みをさらに加速させ、新たなチャレンジャーの年にしていきたいと考えています。

今後も、皆さまの命と健康、暮らし、経済を守ると同時に、心豊かな生活によって誇りと幸福感を持てるよう全力疾走で取り組んでまいります。

商工会の皆さまは、地域の総合経済団体として、小規模事業者をはじめとする商工業の振興・発展や魅力あふれる地域づくりに多大なるご貢献をいただいております。今後も本県のさらなる活性化にむけて、皆さまとしっかり連携し、より一層の支援に取り組んでまいりますので、引き続き県政へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆さまにとって、実り多き素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和4年 元旦

山本 一太



群馬県議会議長 井田 泉

明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎えるにあたり、群馬県商工会連合会の皆様に、県議会を代表して、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の流行が続ぎ、本県においても、長期間にわたって「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、大変な1年となりました。この間、コロナと直接対峙し、最前線で御尽力いただいた医療従事者の皆様をはじめ、感染拡大防止に御尽力いただいた県民・事業者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

多くの皆様が苦境に立たされる中、各方面で感染拡大防止のための懸命の努力がなされたことで、ようやく一定程度、感染状況が落ち着くところとなっており、今後は、万一の第6波の到来に備えた医療提供体制の充実・強化とともに、コロナ禍により傷んだ社会経済活動を立て直すことが求められてくるものと存じます。

県議会といたしましても、各党会派の協力のもと、引き続き、感染拡大に歯止めをかけるための対策や、ワクチン接種の促進、医

療提供体制の整備を進めるとともに、力強い経済の再生とさらなる飛躍に向け、関係機関との連携を図りながら、全力で取り組んでまいり所存です。

さて、県議会では、現在、ICT化への取り組みを積極的に進めているところです。全議員にタブレット端末を貸与し、令和3年第3回前期定例会から委員会においてペーパーレスによる会議運営を開始したほか、第3回後期定例会からはこれを本会議にも拡大しました。また、オンラインによる会議の開催や調査の実施にも取り組んでおり、今後もデジタル技術を活用した議会活動の充実を図ってまいります。

新たな年を迎え、二代表制の一翼を担う県議会の役割はますます重要になってくるものと存じます。県民の皆様の信頼と期待に応えられるよう、さらなる議会改革に取り組むとともに、安心・安全で活力ある群馬県の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

結びに、皆様方の御健勝と群馬県商工会連合会の今後ますますの御発展を心から祈念申し上げまして、挨拶といたします。

令和4年 元旦



全国商工会連合会 会長 森 義久

新年明けましておめでとうございます。
令和四年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、選手の皆様から、多くの勇気と感動をいただきました。一方、我が国経済は、コロナ禍の長期化により、極めて厳しい状況が続きました。とりわけ、地域の中小・小規模事業者の多くは、度重なる事業活動の制限で深刻な打撃を受け、その状況が今なお続いております。

ワクチン接種が加速化したこと等により、昨年秋以降、全国的に新規感染者数が大幅に減少するなど、コロナ禍収束に向けた兆しが見え始めた反面、新たな変異株が急速に広まりつつあり、感染対策の継続が必要となっております。

こうした中、昨年11月に開催した第61回商工会全国大会では、全国各地から2,000名の商工会関係の皆様にご参集いただき、岸田総理大臣をはじめ数多くのご来賓のもと、「コロナ禍を乗り越えるための大型経済対策の早期実現」や「中小企業・小規模事業者支援の拡充」など、6項目について満場一致で決議しました。

この度の決議項目を実現し、コロナ禍という未曾有の危機を乗り越

越えるために、中小・小規模事業者の声を国等に届け、商工会組織一丸となって、きめ細やかな伴走型支援に全力を挙げて参ります。

また、喫緊の課題となっている事業承継について、日本政策金融公庫をはじめ他の支援機関等と連携して積極的に取り組むとともに、デジタル化への対応などにも、各事業者の状況に応じた支援体制を構築し、事業を推進していく所存であります。

昨年度は、実に28年ぶりに会員数が増加しました。これは、コロナ禍の中で商工会の役職員が一丸となり、小規模事業者支援を通じて地域経済の下支えのために必死に努力を重ねたことに対し、評価をいただいた証であると感じております。

本年は、アフターコロナを見据え、「会員あつての商工会」であることを再認識し、地域に根差した唯一の経済団体として、地域で一層頼りにされる存在となるよう、私も全国商工会連合会会長としての責務を果たすべく邁進いたしますので、引き続き皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい1年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

令和4年 元旦

群馬県商工会連合会「創立60周年記念大会」



式辞 石川会長



祝辞 山本知事



祝辞 井田県議会議長



祝辞 森全国連会長



挨拶 国会議員



大会決議 関副会長



記念講演会 坐間講師

【大会報告】

大会では、ご出席いただいた来賓を代表して、山本一太県知事、井田泉県議会議長、森義久全国商工会連合会長からご挨拶をいただきました。山本知事は「商工会には中小・小規模事業者が様々な課題を乗り越えられるよう伴走型支援を実施していただき感謝と敬意を表したい。県の施策も地域の事情に精通している商工会の協力がなければ絵に描いた餅になってしまう。今後も連合会との連携を重視していきたい」。井田議長からは「私もかつては県青年部連合会の役員を務め、研修や地域振興事業を通じて得た仲間との絆、かけがえのない日々は今の私の礎となっている。60周年を機に持ち前のバイタリティを発揮し、会員相互の連携を一層強めてほしい」。森全国連会長は「オンラインを活用した経営支援や、持続化補助金で平成30年から3年連続で申請・採択件数ともに「全国一」を達成するなど、他の都道府県連合会の先駆的な役割を果たしている」などと、お祝いの言葉をいただきました。

続いて、本県選出の国会議員からご挨拶をいただいた後、来賓紹介、大会の最後には、関副会長による「大会決議」を満場一致で採択し第1部は終了しました。第2部では「群馬の気象災害ときょうから役立つ防災知識」をテーマに、前橋市出身で気象予報士の坐間妙子氏による講演会を開催しました。群馬県の過去の災害の発生状況、企業における防災対策、IT活用術などで災害時への備えなど、企業におけるBCP(事業継続計画)にも大変役立つ内容でした。

大会決議

我々商工会は、群馬県商工会連合会創立60周年を機に、改めて商工会の活動理念「すべては会員のために」を念頭に、スローガン「行きます 聞きます 提案します」を実践し、組織一丸となって現下の危機を乗り越え、新たな時代に即応した総合経済団体として中小・小規模事業者の成長発展に寄与できるよう邁進する。

ここに、青年部・女性部を合わせた県内2万会員の英知と総力を結集し、更なる飛躍を期するため、次の4項目の実現を図るべく決議する。

1. コロナ禍克服のための中小・小規模事業者支援の強化
1. 中小・小規模事業者のリスクマネジメント支援の強化
1. 中小・小規模事業者の持続的発展を通じた地方創生への貢献
1. 商工会改革「ぐんま商工会2025」の着実な推進
－ 会員増強、伴走型支援の強化、組織基盤の強化 －

「2021大台南国際旅展」に出展 ～台湾と日本をリアルタイムで繋ぐオンラインツアーの実施～



会場(台湾)の様子

本会では、コロナ収束後の訪日台湾人観光客受入再開に向けて、11月12日(金)～15日(月)に中華民国台南市で開催された「2021大台南国際旅展」に出展しました。現地での観光プロモーションに加え、本会として初めての試みとなるオンラインツアーを実施しました。オンラインツアーには、片品村とみなかみ町のスキー場や宿泊施設等6者が参加し、Zoomを通じて施設内や商品・サービスの魅力をリアルタイムで配信しました。視聴した台湾の消費者や旅行会社から

は、「群馬県観光を疑似体験することができた」「コロナが収束したら必ず群馬県に行きたい」といった声をいただくことができました。コロナ収束後の訪日外国人観光客の回復を見据え、今後も本会では新たな挑戦を続けていきます。



事業所(日本)の様子

SDGsで生き残る! 『中小企業のためのSDGs経営セミナー』開催のお知らせ

「SDGs」という言葉はよく聞くけど、いまひとつ経営とのつながりのイメージが湧きにくい。そのような方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか?

本セミナーでは、中小企業の「持続可能性」と「収益性」をキーワードに、SDGsやSDGs経営の基礎知識をお伝えします。また、中小企業にとってのSDGsに取り組むメリットやSDGsの進め方、SDGsを経営改善ツールとして活用する方法等についても学んでいただくことができます。ぜひ、この機会にご参加下さい!

- 開催日時** 令和4年2月9日(水)14時～16時
- 開催方法** オンライン開催
(県商工連会館にて会場受講することも可能です)
- 内容**
 - SDGsとSDGs経営とは
 - 中小企業にとってのメリット
 - SDGs経営の取り組み方(事例紹介)ほか
- 定員** オンライン受講 50名
会場受講 20名(先着締切)
- 受講料** 無料
- 申込方法** 本会HPから申込書をダウンロードしてお申し込みいただくか、ご加入の商工会までお申し込み下さい。



【講師】

株式会社環境総合研究会
代表取締役
鎌田 健司氏

旅行業界で20年勤務し、10万人以上のお客様対応を経験した後、2004年に株式会社環境総合研究会を起業。現在、日本各地でSDGs経営に関する指導・講演や社会性と事業性の両立を目指す経営活動の普及を推進している。

お申込み・
問い合わせ先

群馬県商工会連合会 経営支援課 星野・根岸
TEL: 027-231-9779 FAX: 027-234-3378 メールアドレス: seminar-info@gcis.or.jp

小規模事業者持続化補助金のご案内

一般型 概要

小規模事業者等の地道な販路開拓や業務効率化の取組を支援するものです。

補 助 率 2/3

補助上限額 50万円

公募受付締切日 第7回受付締切 令和4年2月4日(金)

一般型の申請は書面による申請とJグランツ(電子申請)のいずれかで申請可能です。
なお、次年度も年に3回(6月、10月、2月)申請受付予定となっています。

低感染リスク型ビジネス枠 概要

ポストコロナを踏まえた新たなビジネスやサービス、生産プロセスの導入等、感染防止と事業継続を両立させるための取組を支援するものです。

補 助 率 3/4

補助上限額 100万円

公募受付締切日 第5回受付締切 令和4年1月12日(水)

第6回受付締切 令和4年3月9日(水) **最終回**

低感染リスク型ビジネス枠の申請はJグランツ(電子申請)のみの受付となります。

「美味しい群馬再発見!ビジネス商談会2022~立春~」 バイヤー募集のご案内

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け開催を延期していた「美味しい群馬再発見!ビジネス商談会2021」の振替開催が決定いたしました。

群馬県産の加工食品に関心のあるバイヤー様(百貨店、スーパー、小売、食品卸、ホテル・旅館、道の駅、飲食店等の買い手企業、通販等)のご参加をお待ちしておりますので、奮ってお申し込みください。



昨年度の商談会の様子

開 催 日 令和4年2月14日(月)13:00~

会 場 ホテルラシーネ新前橋(前橋市古市町1-35-1)

募集企業数 バイヤー(買い手)20社

サプライヤー(売り手)は25社~30社(募集終了)

申 込 方 法 本会HPから申込書をダウンロードしていただき、
記入の上ご返信ください。

申 込 期 限 令和4年1月17日(月)

お 問 合 せ 広域支援センター 片貝・清水

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、延期又は中止場合があります。

Zoomを活用したリモート商談で
販路開拓に手ごたえしづかわ
商工会

しづかわ商工会では、コロナ禍においても事業者が安心して商談できるよう、Zoomを活用して「グルメ&ダイニングスタイルショー2021」にリモート出展しました。展示ブースでは、バイヤーの目をひく特大PRポスターを掲示し、キャンプ場をイメージした装飾にするなど工夫を凝すことで誘客に努めました。出展した(株)森の香、(有)マルフクストアの2社は、自社の農場兼店舗にて待機し、会場となる東京ビッグサイトとオンラインで繋ぐことで、生産現場のリアルな情報を提供することができました。バイヤーの興味を引く仕組みを講じたことで、商談を希望するバイヤーからのアクションも多く、より成果・成約率の上がる商談を行うことが出来ました。出展者も「今回の出展によりバイヤーやターゲット層からの生の声を聞くことができ、商品開発や販売促進のヒントを得られた」と、新たな商談スタイルに手ごたえを感じていました。



(出展ブース)キャンプをイメージした装飾



モニター画面越しに商談を行うバイヤー

SDGsを考える
「サステナブルウィーク2021」を開催みどり市
商工会

みどり市商工会ではSDGsの理念に賛同し、「サステナブルウィーク2021」を10月23日から2週間にわたり開催しました。これは、SDGsの目標のひとつ「住み続けられるまちづくりを」をテーマに、「ニューノーマルに対応した商工業の発展と持続」を目指そうとするイベントです。

開催期間中は、市内7店舗による市の名勝「高津戸溪谷」をイメージした「KEIKOKUカレー」の提供や、市民から自慢の手料理をInstagramで投稿してもらう「ツナグ飯」などのイベントが行われました。「KEIKOKUカレー」は、ライスで谷間を作り、カレーを流し込める盛り付けに店独自の工夫が施され、見た目でも楽しめるという好評でした。

提供店からは「このカレーが固定客を呼び戻し、新規顧客の来店につながった」との声をいただきました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALSKEIKOKUカレー
取り扱い店舗旬菜トラットリア
ありす

魚彩遊膳 うおふじ

大間々ゴルフ練習場
食堂部

草木ドライブイン

本場インド料理
スターサンジそば処 ふくおか
TAKE OUTのみ美濃屋
TAKE OUTのみ

中小企業・小規模事業者が抱える多様化・複雑化する経営課題解決のため、広域支援センターでは専門人材を配置し、会員事業者様が抱える課題解決のお手伝いをさせていただいております。今回は嘱託専門指導員による5S活動支援事例とものづくり補助金支援事例について紹介いたします。

アルミエース(株)

千代田町商工会 | 六渡 錬幸(嘱託専門指導員)

5S活動で製造工程の高度化を図るモデル工場を視察

5S活動を積極的に展開し素晴らしい成果を上げている藤岡市の『(株)鐵建』を、自社の経営力向上に取り組んでいる千代田町のアルミエース(株)の方々と視察してきました。

5S活動とは単に掃除や片付けによる職場環境をきれいにする美化活動ではなく、整理・整頓・清掃・清潔・躰を通じて、職場の抱える課題を解決して仕事の質を高めるための改善活動です。

アルミエース(株)はアルミ製品の熱処理加工を行っている企業ですが、原材料高騰等の影響を受けて、利益を逼迫していました。そのため、工程改善及び生産性向上が緊急の課題となっていました。

視察をさせていただいた(株)鐵建は、年間80社程が5S活動の視察にみえる先進企業です。東京ドーム程の敷地内にある工場のあらゆる場所で5S活動が実践されており、徹底して経営理念が浸透していることを理解することができました。

今回の視察で5S活動の推進によって、今後、アルミエース(株)が事業展開をするための方針を以下のとおり学び得ることができました。

★経営計画と5S活動は連動しており、どちらも相互に連携しているので、事業の推進にどちらも欠かすことが出来ない仕組みになっている。

★経営計画目標必達のために5S活動がプラットフォームの役割を担っている。

★実際の5S活動を多くの人へ見ていただき、意見をもらうことで5S活動の衰退が起きないような仕組みを構築しており、毎年5S活動の高度化を行っている。

※(株)鐵建の5S工場見学希望の方は、どうぞ広域支援センターまでご連絡ください。



工場前で記念撮影



質疑応答に応じる女性職員

群馬製畳(有)

玉村町商工会 | 菅田洋之(嘱託専門指導員)

ものづくり補助金を活用した薄畳の品質向上と生産性向上

群馬製畳(有)は1965年創業の玉村町の畳製造業者。近年、ライフスタイルの変化に応じて、畳部屋からフローリングにする方(消費者)が増加していることに伴い、フローリングに置く薄畳の需要も増加していました。一般的な畳は厚さ60mm重さ10kg~30kgと扱いづらいですが、薄畳は厚さ15mm重さは半畳で2.5kg、1畳でも5kgと非常に軽くて扱いやすいのが特徴です。

薄畳の製造工程では縁に皺が発生してしまう等の課題があり、高品質な薄畳の生産ができませんでした。そこで、ものづくり補助金を活用して、新たな工程の開発に挑戦することになりました。

補助事業では東海機器工業(株)製「全自動反転式平刺機ロボオート」を導入し、新たな縁付け工程の開発や厚畳から薄畳への段取り替え時間を1/5に短縮する工程の開発を行うことができました。

今後の展開としては和室に敷く畳だけでなく、フローリングに敷くインテリアとして薄畳の需要拡大を計画しています。



導入した全自動反転式平刺機
ロボオートHM-6B